

ドイツ・ハンブルク市によるリヒトヴァルク記念奨学金
「国際言語としてのドローイング」
第1回(2009/10年):ハンブルクにおける日独ワークショップ
参加者募集について

ハンブルク応用科学大学デザイン学部教授
Prof. Anke Feuchtenberger/アンケ・フォイヒテンベルガー
Wartenau 15 Hamburg 22089 00491743460367
feuchtenbergerowa@googlemail.com

ワークショップの趣旨:

ハンブルグ芸術教育運動の指導者アルフレッド・リヒトヴァルク(Alfred Lichtwark、1852-1914)を記念した本企画は、世界の芸大生の交流および国際言語としてのドローイングの探求を目的とする。その第一歩として、日本の芸大生4人をハンブルクでのワークショップに参加してもらおう。後々には、ドイツの学生を京都に滞在させ、交流を高めに行くことを目指す。

ワークショップ参加募集対象:

ドローイング、特にストーリー性のあるドローイング、マンガ、コミックス・ルポルタージュ、イラストレーションといった分野での経験があり、かつまたドイツでのコミックス・ワークショップに興味のある京都の芸術系大学に在籍する4回生以上の学生。

募集人数:4人

ワークショップの内容:

2009年9月14日~25日の間、ドイツ・ハンブルク応用科学大学デザイン学部のスタジオで、イラストレータ兼コミックス作家、さらにデザイナーであるアンケ・フォイヒテンベルガー教授の(英語での)指導を受けながら、「私が見たハンブルク」というテーマで、広義でのコミックス・ルポルタージュ(ルポ・マンガ)を描く。ワークショップの成果は出版物として刊行されると同時に、ハンブルクおよび大阪ドイツ文化センター(ゲーテ・インスティトゥート)にて展覧会の形で発表される予定。

参加費用:

- ・ この奨学金は、参加者の滞在費(宿泊と大学食堂での食事)、さらに会場費と指導費を含む。

- ・ 航空券などの旅費は参加者が負担するものとする。

応募方法：

以下のものを、メールの添付ファイルとして、

フォイヒテンベルガー（feuchtenbergerowa@googlemail.com）に送信する。

1. 応募者が描いた 15 枚以上からなる（最低限の画質での）データ形式のポートフォリオ
2. 英語でのそれぞれのタイトルと、それぞれの制作に関する短い説明
3. 応募者の英語での略歴

応募締め切り：2009 年 7 月 1 日（水）

人選方法：

フォイヒテンベルガーが応募書類を審査の上、7 月 18 日前後、京都国際マンガミュージアムにて最終人選を行う。

問い合わせ：ジャクリーヌ・ベルント（京都精華大学マンガ学部教授、berndt@kyoto-seika.ac.jp）